

りんご・なしの授粉用花粉を確保しましょう

国内への侵入を警戒している重要病害である「火傷病」の発生が中国で確認され、中国産りんご・なし花粉の輸入が停止されました。中国産花粉が使用できなくなるとともに、国産花粉の入手も困難になることが懸念されることから、購入花粉を使用していた生産者は、花粉の自家採取を進める必要があります。産地内で効率的な花粉採取を行うとともに、採取した花粉の有効利用に努めましょう。

1 人工授粉に向けた花粉の自家採取について

【花（花粉）の採取】

- (1) せん定時、栽培品種と交雑和合性のある品種の長果枝を多めに残し、枝採取後（1～3月）はビニールハウス等で保温し、開花を早め採取します。
 - (2) 開花期には果実をつけない部分の花から花粉を採取します。
 - (3) 開花期の早い品種から摘んだ花を用いて花粉を採取します。
- ※採取する花は、開花直前の風船状にふくらんだ花、もしくは開花直後でまだ花粉の出していない花を利用します。採取した花は、早めに葯採取器にかけます。



ハウスで保温したなしの長果枝

【葯落とし・開葯・保管】

- (1) 葯採取器を使用して花弁やがくを取り除き、3mm目程度のふるいにかけて葯のみにします。
- (2) 採取した葯は開葯器の皿に薄く広げて開葯器に入れ、25℃程度で15～20時間保温します。
- (3) 開葯後に湿度が高いと発芽率が下がるため、一時保管する場合は、紙等で花粉を包み、シリカゲル等の乾燥剤とともに茶筒等に入れて冷蔵庫で保管します。



採取する花（風船状、開花直後）

採取する花の量

なし・りんごの場合、授粉する面積10aに対し約1,500個を目安とします。

2 訪花昆虫利用による授粉

【複数品種を混植している園地では、ミツバチやマメコバチを利用】

- (1) 全面的にミツバチに結実を依存した場合、りんごでは1ha当たり5群以上必要です。
- (2) マメコバチの行動半径は巣の周辺およそ50m程度であり、約80aの面積にあたります。りんごでは、巣を置く場所から50m離れた場所で平均結実率50%を目標にするには、約500頭が必要とされています。



訪花するミツバチ

防除暦の検討

開花期にはミツバチ等に影響する殺虫剤を使用せず、開花期前の殺虫剤使用では残効性を考慮しましょう。

3 産地内での花粉の確保について

- (1) 花粉の確保は全国的な課題であり、葯採取器や開葯器の在庫量のひっ迫が懸念されるため、産地内においては、個人生産者が所有している葯採取器や開葯器の共同利用を御検討願います。
- (2) 葯採取器や開葯器を新たに購入する場合に活用可能な県の補助事業は次のとおりです。

事業名	事業実施主体	補助率	要件等
産地発展促進事業	<ul style="list-style-type: none">・農業協同組合・集落営農組織・その他営農集団(認定農業者を含む3戸以上の農家の組織する団体)	1/2 以内 補助上限8,000千円	<ul style="list-style-type: none">・補助事業年度の3年後における作付面積、10a当たり収量、販売額のいずれかで、事業年度よりおおむね10%以上の増加が見込まれること など

発行年月

令和5年11月

発行

宮城県農政部園芸推進課

問合せ先

- (1) 人工授粉に向けた花粉の自家採取、訪花昆虫利用による授粉に関すること

大河原農業改良普及センター (TEL : 0224-53-3431)

亘理農業改良普及センター (TEL : 0223-34-1141)

仙台農業改良普及センター (TEL : 022-275-8374)

大崎農業改良普及センター (TEL : 0229-91-0726)

美里農業改良普及センター (TEL : 0229-32-3115)

栗原農業改良普及センター (TEL : 0228-22-9437)

登米農業改良普及センター (TEL : 0220-22-6127)

石巻農業改良普及センター (TEL : 0225-95-1435)

気仙沼農業改良普及センター (TEL : 0226-25-8069)

農業革新支援センター (TEL : 022-211-2837、022-383-8134)

- (2) 補助事業に関すること

宮城県農政部園芸推進課 (TEL : 022-211-2843)